

名古屋大学大学院生命農学研究科
森林・環境資源科学専攻（森林水文・砂防学研究室）准教授公募要領

1	募 集 件 名	准教授の公募
2	所 属	大学院生命農学研究科 森林・環境資源科学専攻 森林水文・砂防学研究室
3	募 集 内 容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] 名古屋大学大学院生命農学研究科では、生命科学の基盤の拡充、生物機能・生物資源の高度利用、生命共生環境の創出・保全、および持続的生物生産と先端生命科学の技術開発を通して環境に調和した人類の発展を目指す総合的な学問分野として「生命農学」を位置づけ、創造的な研究活動によって真理を探究し、生命農学に関して世界屈指の知的資産形成・蓄積と継承に貢献することを使命としています。 本研究科の森林・環境資源科学専攻においては、森林をはじめとする様々な陸域環境を対象として、それらの保全や再生、および生物資源の管理・生産・利用のありかたを探究し、環境に調和した持続可能な循環型社会の実現に貢献することを目指した教育研究に取り組んでいます。その中で、森林水文・砂防学研究室は、森林における水・物質循環の解明、土砂移動現象の解明と防災・減災技術の構築、およびこれらに基づく変動環境下における持続的な自然資源管理手法の構築に関する教育研究を担当しています。 本公募では、上記に関する分野および関連する農学や環境学分野において優れた研究業績を有し、樹木から流域までの多様なスケールでの大気-陸域境界における水や物質循環に関する研究を専門とし、国内外の機関との教育研究連携や社会連携を推進できる人物を求めます。とくに、森林科学と関連学際領域での広い視野に立つ先進的研究を推進し、当該研究室および専攻の教育研究の発展に貢献できる人物を求めます。さらに、関連領域の教養教育、学部・大学院専門教育と研究指導に強い熱意をもち、組織の管理運営に責任感と協調性をもってあたる人物を望みます。 【担当する業務】 ・森林などの陸域環境における水・物質循環に関する先進的な研究 ・大学院生命農学研究科および農学部における教育 ・大学院生命農学研究科および農学部の管理運営に関連する業務 <担当授業科目> (1) 大学院 ・博士前期課程：森林環境学特論、修士論文研究、生命農学演習など ・博士後期課程：博士論文研究 (2) 学部 ・専門分野に関連する全学教育科目および国際森林資源学、生物圏環境学Ⅰ、森林資源管理学Ⅰ、生物環境科学実験実習Ⅰ・Ⅱなどの学部科目、卒業論文研究など

		※本募集では、業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。	
		[勤務地]	愛知県名古屋市千種区不老町
		[募集人員]	准教授・1名
		[着任時期]	2024年4月1日以降のできるだけ早い時期
4	募 集 研 究 分 野	大分類	ライフサイエンス 環境 自然科学一般
		小分類	森林科学 環境動態解析 大気水圏科学
5	勤 務 形 態	常勤 任期なし	
6	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件(学位などを含む)・専門性等の詳細] ・博士学位を有している者 ・森林などの陸域環境における水・物質循環の研究や関連する農学や環境科学の研究を専門とし、国際的視野を持ち、優れた研究業績を有する者 ・大学院と学部における教育と研究指導に、熱意と責任感、協調性を持って取り組むことができる者	
7	待 遇	[採用後の待遇(給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等)] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は、東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程による年俸制 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm	
8	応 募 期 間	2023年9月15日～2023年11月17日(日本時間17:00必着)	
9	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	[応募方法(提出書類の送付先)] (1) 応募する旨を明記した書類(応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレス等を含む) (2) 履歴書(様式自由) (3) 研究業績リスト(原著論文、総説、著書、その他に分け、責任著者に*をつけること) (4) 現在までの研究の概要(2,000字程度、研究業績リスト番号を引用のこと) (5) 今後の研究に関する計画と抱負(1,000字程度) (6) 大学院・学部における教育に対する考え方と抱負(1,000字程度) (7) 過去10年間の研究費獲得状況(科学研究費補助金等の競争的資金について、代表と分担に分けて、名称と金額を明記のこと) (8) 大学における管理運営、社会連携、国際協働についての考え(1,000字程度) (9) その他(教育実績、学協会関連活動、社会貢献など選考の参考になる事項)	

	(10) 類型該当性の自己申告書と類型該当性判断のフローチャート (https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html から様式をダウンロードして作成すること。「10. その他」欄を参照のこと。) (11) 応募者について照会できる方2名の氏名、連絡先、電話番号、電子メールアドレス (12) 論文等の PDF ファイル (主要なもの 10 編程度) ・上記の書類 (1) ~ (11) を 1 つの PDF ファイルにまとめ、主要論文の PDF ファイル (12) とともにフォルダに入れ、圧縮 (ZIP 形式) フォルダにしたものを、以下のアドレスに添付で送信してください。 ・メールの件名は「森林水文・砂防学研究室准教授応募書類 (氏名)」としてください。 ・ファイルサイズは全体で 60 MB を超えないようにしてください。やむをえず越えてしまう場合は、複数のメールに分割し、その旨を明記してください。 ・なお、受領確認のメールを委員長から返信しますので、届かない場合には必ず委員長まで電子メールでお問い合わせください。 書類の送付先アドレス(電子メール): fhs-kobo@agr.nagoya-u.ac.jp ※メールアドレスの[at]を@に置き換えてください。 [問合せ先] 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院生命農学研究科 森林・環境資源科学専攻 (森林水文・砂防学研究室) 准教授選考委員会委員長 五味高志 電子メール: gomit@agr.nagoya-u.ac.jp ※メールアドレスの[at]を@に置き換えてください。 ※その他の問合せについても、委員長宛に電子メールにてお願いします。
	[選考内容 (選考方法、採否の決定)] ・書類選考の上、面接を実施することがあります。 なお、面接を実施する場合の交通費は自己負担とします。 ・採否の結果については、原則、電子メールで連絡します。

10	その他	・本研究科は男女共同参画推進に積極的に取り組んでいます。名古屋大学の取り組みについては下記をご覧ください。 http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分します。
----	-----	---